

立川市教育委員会 殿

学校名 立川市立立川第三中学校

校長名 今本 由美子 印

令和6年度 教育課程について（届）

このことについて、立川市立学校管理運営規則第12条に基づき、下記のとおりお届けします。

1 教育目標

（1）学校の教育目標

立志 鍛錬 協調

- 自分の将来の姿、生き方をイメージし、その実現に向けて努力しよう
- ◎より良い自分を目指し、学習に励み、感性を磨き、体力向上に努め自らを高めよう
- 一人一人の個性を認め合い、互いに協力し成長し合おう

（2）立川市教育委員会学校教育の指針を踏まえた学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア 自分の将来の姿、生き方をイメージし、その実現に向けて努力しよう（立志）
 - ・3年間の系統的なキャリア教育の中で、様々な体験活動や地域社会との関わりを通して、自己肯定感を高める。
 - ・「立川市民科」への取組を通じた生徒の市民性の涵養を目指すとともに、生徒会や各委員会、実行委員会等における生徒の主体的活動を推進する。
- イ より良い自分を目指し、学習に励み、感性を磨き、体力向上に努め自らを高めよう（鍛錬）
 - ・基礎学力の伸長を図るとともに、生徒が「分かった」と実感できる授業を実践するために、教員の授業改善を推進する。
 - ・ICT 機器を効果的に活用し「個別最適な学び」「協働的な学び」を進め、主体的に学ぶ態度を育成する。
- ウ 一人一人の個性を認め合い、互いに協力し成長し合おう（協調）
 - ・生徒の道徳的な判断力、実践意欲を育成するための道徳教育の充実を図る。
 - ・特別支援教育に対する共通理解を進め、多様性を認め、個に応じた支援体制を確立するとともに、関係諸機関と連携し、教育相談体制の充実を推進する。
- エ 学校の教育目標の達成に向けたその他の事項
 - ・ネットワーク型学校経営による、地域や家庭、関係諸機関などと連携した教育活動を進める。
 - ・コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会や地域学校協働本部と協働した学習活動や体験活動の充実を図る。
 - ・教育の質の向上を図るために、教職員の業務の効率化と働き方改革を推進する。

2 指導の重点

(1) 学習指導要領及び生徒指導提要进行を踏まえた各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、立川市民科における指導

ア 各教科

- ① 一人1台タブレット PC や電子黒板などの ICT 機器を効果的に活用し、生徒が主体的に活動する授業を展開する。また、指導と評価の一体化を推進する。
- ② 全教員が、ユニバーサルデザイン (UD) の共通認識をもち、環境整備と授業改善 (指導及び学びの UD 化) の推進を行う。また、教科領域を超え、日常的に相互授業参観を行い、授業作りを探究する。
- ③ 学習活動の成果と課題、全国学力・学習状況調査の結果などを分析し、授業改善推進プランを作成する。また、年間指導計画を教科等横断的な視点で捉えるとともに、生徒の実態に応じた授業改善に努め、学習活動の質の向上に努める。

イ 特別の教科 道徳

- ① 生徒の道徳性を育むための要として、「特別の教科 道徳」の授業を実施する。道徳教育推進教師を中心に校内の指導体制を強化し、年間計画に基づき、各教科、総合的な学習の時間、特別活動などとの関連を図る。
- ④ 効率的な情報共有や話し合い活動の形態を工夫し、「考え、議論する道徳」の授業を充実させる。
- ⑤ 道徳授業地区公開講座を開催し、心の教育について学校、家庭、地域の相互の理解を深め、連携して生徒の道徳性を育む。

ウ 総合的な学習の時間

- ① 各教科や領域で身に付けた知識や技能を関連付け、総合的に活用する力を育てる。また、一人1台タブレット PC を積極的に活用し、探究的な活動や問題解決に主体的に取り組める学習を充実させる。
- ② 「中学生の主張」作文を活用して、意見発表会に全校で取り組む。国語科の学習と関連付け、自己の考えをまとめ、発表することで思考力・判断力・表現力等などの育成や学習の深化を目指す。また、他者の発表を聞くことで、ものの考え方や自己の生き方について深く考える場とする。

エ 特別活動

- ① 学級活動において、学級の組織的運営や体験的活動を通して、思いやりと助け合いの心を育て、学校生活をよりよく改善していこうとする力を育成する。
- ② 学校行事において、仲間と協力し感動や成就感を味わえるように、生徒主体の行事運営を行い、その過程からよりよい人間関係を築く力を育成する。
- ③ 異学年集団である生徒会活動の活性化を進めるため、中央委員会や学級の討議の質を高め、生徒一人一人がより積極的に学校生活に参加する自覚がもてるよう、自治や社会参画の精神を育成する。

オ 立川市民科

- ① 学校運営協議会や地域学校コーディネーターと連携し、市民力を生かした職業選択に関わる学習、防災教育などにより、地域を大切にしたいという思いや新たな未来を拓いていこうとする態度を育成する。
- ② 「防災ノート～災害と安全～」や「青少年赤十字防災教育プログラム」、「東京マイ・タイムライン」を活用し、防災教育を推進する。

(2) 特色ある教育活動

- ① 学校2020レガシーとして、日本の文化に直接触れる校外学習などの体験活動により、自国文化の理解などを充実させる。
- ② 各教科、領域で、学校図書館や地域の図書館の積極的な活用を促す。学校図書館活動推進員を活用し、読書活動を推進する。
- ③ 講師を招聘して、薬物乱用防止教室、安全指導、携帯電話やスマートフォンの使い方等のスキルを学ぶ企画を充実させる。
- ④ 地域ボランティア等を活用して、放課後の学習環境を提供するSSR（三中スタディルーム）や長期休業期間の補習教室、各種検定を、学習習慣の定着、学力向上の取組として実施する。
- ⑤ 落ち着いた学習・生活環境のため、ユニバーサルデザインの視点からの環境整備と授業改善、及び行動支援を推進する。

(3) 生活指導

- ① 生徒による自治的な力を高めるために、生徒会活動を充実させる。学級や学年のリーダーを育て、正義感を培い、生徒同士が真剣に向き合える人間関係を基に、問題に対して自浄作用が働く取組を行う。
- ② 定期的な心のアンケートや「ふれあい月間」及び「いじめ解消・暴力根絶旬間」などにおいて、いじめ調査、生徒面談を実施する。いじめ防止の啓発活動を、生徒会・専門委員会や学年、保護者、地域と連携して行う。
- ③ 生徒のSOSを確実にキャッチするための校内相談体制の強化と関係諸機関との連携を充実させる。
- ④ 通常の学級における特別支援教育の推進と特別支援教室との連携を通して、一人一人の学びの保障と生徒理解に基づく細やかな生徒指導を行う。
- ⑤ 原則毎週、校内委員会を開催し、特別支援教育コーディネーターを中心に、配慮や特別な支援を必要とする生徒の把握とその具体的サポートの提案、教職員への周知や副籍生徒の受け入れ方法などを検討する。

(4) 進路指導

- ① 生徒が自己分析し、適切な進路選択や職業選択を行えるようにするために「立川夢・未来ノート」を年間指導計画に位置付け、進路指導のガイダンス機能を充実させる。
- ② 3年間を見通した連続性のある進路指導を行う。特に、第1学年において行う「レディネステスト」、第2学年で行う「職場体験学習」、第3学年で行う「生き方学習」などについては、将来の進路につながりをもたせる。

中・第3表

立川市立立川第三中学校

3 学年別授業日数及び授業時数の配当

(1) 年間授業日数配当

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
標準	16	21	20	14	0	19	22	20	18	17	18	16	201
1年生	16	21	20	14	4	20	23	20	18	17	18	16	207
2年生	16	21	20	14	4	20	23	20	18	17	18	16	207
3年生	16	21	20	14	4	20	23	20	18	17	18	13	204
備考	1 第1学年の4月8日は入学前のため1日減 第2学年、第3学年の4月9日は入学式のため1日減 第3学年の3月21日以降は卒業後のため3日減 2 振替休業日の設定のない土曜日授業は年間2日実施(4/27、9/14) 3 長期休業日授業は年間4日実施(8/27、8/28、8/29、8/30)												

(2) 各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動、立川市民科の年間授業時数配当表

	第1学年		第2学年		第3学年	
	配当 時数	標準 時数	配当 時数	標準 時数	配当 時数	標準 時数
国語	143	140	145	140	107	105
社会	107	105	108	105	142	140
数学	144	140	110	105	142	140
理科	107	105	145	140	142	140
音楽	51	45	41	35	41	35
美術	48	45	38	35	38	35
保健体育	107	105	108	105	106	105
技術・家庭	72	70	74	70	37	35
外国語(英語)	145	140	146	140	145	140
小計	924	895	915	875	900	875
特別の教科 道徳	35	35	35	35	35	35
総合的な学習の 時間	21	20	43	40	32	40
特別活動 (学級活動)	35	30	36	30	36	30
立川市民科	35	35	35	35	35	35
合計	1050	1015	1064	1015	1038	1015
余剰時数	35		49		23	

(3) 生徒会活動、学校行事の年間授業時数配当表

教育活動（時）		学年（年）		
		第1 学年	第2 学年	第3 学年
生徒会 活動	生徒集会	4	4	4
	委員会活動	9	9	9
学校行事		45	32	40